

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和03年01月14日

計画の名称	常滑市における下水道施設の更新化（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	令和03年度～令和07年度（5年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	常滑市														
計画の目標	老朽化した下水道施設の改築、更新及び耐水化を行い、災害に強い安全、安心なまちづくりを実現する。														
全体事業費（百万円）		合計（A＋B＋C＋D）		3,476	A	3,476	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03当初	R05末	R07末
1	・雨水ポンプ場の改築工事実施率を67%(R03当初)から100%(R07末)に増加させる。			
	雨水ポンプ場の改築工事実施率	67%	100%	100%
	改築工事を実施した雨水ポンプ場の数（箇所）／改築工事を実施すべき雨水ポンプ場の数（箇所）			
2	・雨水ポンプ場の耐震化工事実施率を67%(R03当初)から100%(R07末)に増加させる。			
	雨水ポンプ場の耐震化工事実施率	67%	100%	100%
	耐震化工事を実施した雨水ポンプ場の数（箇所）／耐震化工事を実施すべき雨水ポンプ場の数（箇所）			
3	・耐水化計画策定の策定率を0%(R03当初)から100%(R03末)に増加させる。			
	耐水化計画策定の策定率	0%	100%	100%
	耐水化計画を策定した計画の数（個）／耐水化計画を策定すべき計画の数（個）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	ポンプ 場	改築	榎戸雨水ポンプ場	ポンプ場改築工事・設計	常滑市						2,780		策定済	
		ストックマネジメント計画																		
	A07-002	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	ポンプ 場	改築	榎戸雨水ポンプ場	耐震化	常滑市						665		策定済	
		ストックマネジメント計画																		
	A07-003	下水道	一般	常滑市	直接	常滑市	-	-	耐水化計画策定	調査・設計	常滑市						31		-	
												小計						3,476		
											合計						3,476			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R03				
配分額 (a)	17				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	17				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	17				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

## 事前評価チェックシート

計画の名称： 常滑市における下水道施設の更新化（防災・安全）（重点計画）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画との適合等 1) 上位計画と適合している。上位計画（名古屋港海域等流域別下水道整備計画、全県域污水適正処理構想、常滑市総合計画）	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画との適合等 2) 常滑市公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画との適合等 3) 各種事業計画が策定され、適合されている。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画との適合等 4) 各種法令（都市計画法、下水道法等）に適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量式指標の整合性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○